

文部科学省 2020 年度 SDGs 達成の担い手育成（ESD）推進事業

ゲーミフィケーションを用いた SDGs 教材活用のための教員向け人材育成

SDGs イノベーション教育拠点校 募集

1. 目的

2030 年を期限として、国連が掲げた目標、それが「SDGs」。SDGs とは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称です。誰一人取り残さない社会の実現を目指し、国際社会全体で積極的な役割を果たすことが期待されています。2020 年度より、学習指導要領において「持続可能な社会の創り手と育成」が求められ、ESD 教育（Education for Sustainable Development）の導入が開始されています。文部科学省では SDGs 達成のための教育の推進に向けたニーズを踏まえ SDGs 達成の担い手に必要な資質・能力の向上を図る優れた取組みに対する戦略的な支援として SDGs 達成の担い手育成（ESD）推進事業を展開しています。

金沢工業大学は、文部科学省から推進事業の採択を受け、ゲーミフィケーションを用いた SDGs 教材活用のための教員向け人材育成を展開します。その一環として全国から「SDGs イノベーション教育拠点校」を募集し、ゲーミフィケーションを活用した SDGs イノベーション教育カリキュラムや教材を活用しながら、ハンズオン型で持続可能な社会の担い手の育成（ESD 教育）を支援します。

金沢工業大学のSDGsイノベーション教育カリキュラム

SDGs 達成の担い手を育成する教育が高く評価され、第 1 回ジャパン SDGs アワード官房長官賞を受賞した金沢工業大学の SDGs イノベーション教育カリキュラムをベースとして開発した小学生・中学生・高校生向けの教材を活用できる教員を ESD 研修により全国で育成すると共に、教員が各地域に適した授業を行えるように教材のカスタマイズを促していきます。

自分たちの理想とする社会を描き、自らが進みたいと思う道を歩み、人生をより楽しめる

ESD 研修を全国の小学・中学・高校・学習塾などへ提供する結果として、子どもたちが自分たちの理想とする 2030 年の社会を描く能力を身につけ、自らが進みたいと思う道を歩み、人生をより楽しめるようになることを目指します。ESD 研修は、ゲーミフィケーションを活用した SDGs 教材の開発と教材を組み合わせた SDGs カリキュラムを有効活用する教員を全国で育成するためのツールを開発し、①集合研修、②地域別研修と共に③SDGs イノベーション教育拠点校への支援を展開します。

オンラインを活用し、学校の新しい生活様式に対応しながら全国展開

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により学習環境の変革が求められています。この状況において感染リスクに十分配慮しつつ学習の機会を確保しなければなりません。これまでの主流である対面式研修から、オンラインを活用した新たな研修スタイルの構築を図り、学校の新しい生活様式に対応しながら全国展開の研修を実施します。

2. SDGs イノベーション教育拠点校とは

全国の小学・中学・高校から、ハンズオン型で支援する SDGs イノベーション教育拠点校を 10 校選定し、各校に適したカリキュラムを各校の担当教員とともに模索・実践します。

SDGsイノベーション教育拠点校のメリット

- (1) 金沢工業大学のほか、多様な専門家のアドバイスを受けながら、SDGs 学習に関する授業の構築・実践・ブラッシュアップができます。
- (2) 先進的なモデル授業に取り組むことで、新しい取り組みに挑戦する校内の機運醸成や対外的な PR に繋がります。
- (3) 生徒一人ひとりが主体性を持ち、楽しく SDGs を学ぶ環境作りが実現します。

3. SDGs イノベーション教育拠点校への支援内容

拠点校へのご支援は、オンライン上での研修ならびに学習相談を主体として展開します。

SDGs教材の無償提供

- (1) ゲーミフィケーションを活用した SDGs 教材
2019 年度の SDGs 達成の担い手育成 (ESD) 推進事業に採択された取り組みにおいて、金沢工業大学では 5 つの SDGs 教材を開発しています。
 - THE SDGs アクションガードゲーム X (クロス)
 - ファクト
 - シェアアンドサルベージ
 - サバイバル 体育館で生き残れ!
 - タイムリープ Beyond SDGs
 - ESG インベスターズ 未来社会への投資
- (2) 各教材の解説部分を収録したレクチャー動画
- (3) SDGs と親和性が特に高い「総合学習、社会、理科、家庭、英語」の科目ごとの導入を補助する補助教材

アドバイザーによる相談窓口を提供

金沢工業大学の SDGs に関する専門教育を受け、教材・カリキュラム開発やそれらを用いた授業・ワークショップを行っている大学院生をアドバイザーとして任命し、各校に適したカリキュラムの使い方を各校の担当教員とともに模索・実践します。

教員向け研修を実施

各地域で実際にカリキュラムの導入を行った教員が金沢工業大学（オンライン上）に集まり、教材・カリキュラムのカスタマイズ手法や事例を学び、ワークショップを通じて、計画を立案し、

それを教員間で共有することで、協働学習を行っていきます。その際、SDGs と親和性の高い「総合学習、社会、理科、家庭、英語」での活用方法を総合的に学習することで、各教育機関におけるカリキュラムマネジメントの視点を習得しやすい環境を構築します。

SDGsイノベーション教育サミット（オンライン）への参加

各教育拠点校の教員のみならず、各教育拠点校の特に優れた学習意欲を持つ児童・生徒にも参加いただき、その成果を他校と共有する場を提供します。また、有識者による評価を行い、アワードを授与します。

活動予定（予定）

STEP	期日	活動名
1	2020年 8月29日（土）	第1回 SDGs イノベーション教育サミット - SDGs 学習支援成果発表会グランドチャンピオンシップ - 事業説明会（メンター紹介など）
2	適時	教材の提供と実施サポート体制の提供
3	未定	教員向け研修（2回）
4	11月7日（土）	第2回 SDGs イノベーション教育サミット - 拠点校事例紹介（生徒発表含む）
5	2021年2月	実施結果とりまとめ

4. SDGs イノベーション教育拠点校の募集内容

応募要件

SDGs イノベーション教育拠点校は、下記に示す要件すべてを満たすものとします。

- (1) 本取組みが可能な小学校・中学校・高校・学習塾であること
- (2) 実施規模に関して金沢工業大学の意思を組み入れ決定すること
- (3) オンライン環境が整備されていること
IT環境として①教員とのオンラインミーティング環境（PC、Zoomなどのオンラインミーティング可能なソフトウェアを導入したPC）、②児童・生徒のYouTube閲覧環境が必要となります。児童・生徒の個々のPC/タブレットは不要です。
- (4) 本取組みに関するインタビュー、アンケートの提出にご協力いただけること
- (5) 積極的に教員向け研修に参加いただけること
- (6) SDGs イノベーション教育サミットへ参加いただけること
- (7) 金沢工業大学が実施するユースイベントの参加者募集にご協力いただけること
- (8) 報告書等、活動成果を共有いただけること
- (9) 学校名、取組内容について本学ホームページで公開することに承認いただけること（写真・

- 動画撮影対象者等の事前許可を得ていただくこと)
- (10) 実践例等を整理した普及啓発冊子への掲載に承認いただけること
 - (11) 各地域において他校からの視察受け入れ、導入に向けた相談にご協力いただけること

実施期間

2020年8月頃から2021年2月28日(日)まで

選定校の上限

選定数は10校を上限とします。

選定方法

教育拠点校の選定にあたっては、有識者等の意見を踏まえ、応募期限までに応募があったものの中から、金沢工業大学において選定する予定です。選定にあたり、応募内容について電話や電子メールによるヒアリングを実施する場合があります。また、必要に応じ、追加資料提出等の対応を求める場合があります。

応募方法

応募要件をすべて満たしていただけることを確認の上、下記の申請内容をご記入の上、電子メールにて提出してください。

(1) 申請内容(申請様式あり)

- (1) これまでに取組まれたSDGs教育や探究学習の成果と概要
- (2) これからどんな風にSDGs教育や探究学習を行いたいのか
- (3) コロナウイルス禍で特に力をいれている取組み
- (4) 実施体制(全学/クラス、教員体制、対象学年)

*必要に応じて添付資料をご提出頂いてもかまいません。

(2) 提出先

金沢工業大学 SDGs 推進センター kit-sdgs@kanazawa-it.ac.jp

(3) 応募期限

2020年8月19日(水) 17:00 必着

*IT環境に関するお問合せをいただき、要項に一部追加したため、応募期限を延長変更いたします。

選定結果

採択された方には、8月21日(金)頃に電子メールにて通知いたします。